

ぐんぱる

VOLUME 148

2026.4

Gunma Judothapist Association

公益社団法人群馬県柔道整復師会



関東学術大会 埼玉

柔道整復術 未来へ継承発展

POINT

3月、さいたま市の大宮ソニックシティで「第46回関東学術大会埼玉大会」が開催された。特別講演に加え、各県の代表が日頃の研究成果を発表。群馬県からは橋本森会員が骨折の保存療法を披露した。

国民医療の一端 継承発展に向けて

冒頭、公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）の長尾淳彦会長は、柔道整復術が国民医療の一端を担ってきたことに言及。柔道整復師が日々研鑽してきた伝統ある技術を限らない未来に継承発展させるために、学会の意義を説く。

「今回得たことを念頭に、日々の施術に役立て、目的達成のために全力を傾注し



てほしい」とした。

特別講演では「腰のための正しい姿勢について」と題して、栗原整形外科院長の栗原友介先生が登壇。柔道整復師と連携して運動器疾患や外傷の保存療法に力を注いでおり、腰痛への対処法について、一石を投じた。（詳しくは2面参照）

アートからサイエンスに

日整は「匠の技伝承プロジェクト」として、柔道整復理論の中で学術研究の対象としてきた骨折や脱臼の整復法を未来に残す活動を実施している。徳山健司日整教育部長はこのプロジェクトの意義を報告。厚生労働省はガイドラインのない治療法は保険の対象とはならないという見解を示して

おり、そのため、柔道整復術のエビデンスを示す活動として、目的の対象をはっきりとさせ、論文などを通じて有効性の立証を図っていかねばならないという。また、伝統ある柔道整復師を後世に伝えるために、「今後は発信だけでなく、異業種への発信力の向上、さらにはグローバルに活動をして世界へ発信する実力をつけよう」と訴えた。

「エコーを柔道整復師の手に」と題して講演したのは小野博道日整教育部員。有効性の実証には超音波診断検査（エコー）は不可欠である。「柔道整復術として百年してきたことを証明するにはエコー検査しかない」として画像診断能力向上に期待を寄せた。

研究発表

新鮮な膝蓋骨骨折に対する保存療法の一経験

群馬県代表
橋本 森 会員



日々の施術の中で、医師の指示のもと保存療法を実施して良好な結果を得たことを論文発表したのは橋本会員。

膝蓋骨骨折は 直達外力・介達外力によるものがあり、直達外力では膝前面を強打することで発生。骨折線は複雑な粉碎型となる。一方介達外力では膝関節屈曲位で大腿四頭筋の牽引力が働き、遠位の横骨折となる場合も多い。膝蓋腱膜が断裂したものは離開転移をとるが、断裂していなければ保存療法も可能。

固定除去後の屈曲可動域制限の早期改善に注力。有効であると思われるアプローチを複数実施することで、良好な結果を得ることができたという。今後もさらに研鑽を重ねていきたいということだ。

「姿勢の良し悪し」 固定観念から脱却を



関東学術大会埼玉 特別講演

腰のための正しい姿勢について

講師 栗原整形外科病院 院長 栗原友介 先生



特別講演では栗原整形外科病院の栗原友介院長が「腰のための正しい姿勢について」を披露。腹圧を上げることで痛みのない生活を送れることを示唆し、世間一般の腰痛に対する認識に疑問を投げかけた。

「痛いことを徹底的にやらない」。特別公演の冒頭、講師の栗原先生は腰痛の養生についてこう説明する。厚労省の国民生活調査によると、日本人の自覚症状のトップは腰痛であり、日本人の国民病とも言われている。このようにトラブルの多い腰だが、腰のための正しい姿勢とは一体どのような姿勢なのだろうか。

意識的に腹圧を高めることで 強固な体幹を手に入れる

腹腔は筋肉で密閉され、臓器で充滿されている。腹圧で一体化した強固な体幹は手足の能力を十分に発揮できる。そこで意識的に腹圧を上げる方法を探った。腹を膨らませることで最大50%程度に上がることがわかり、その状態で腹筋を収縮させたりコルセットやサランを巻くと最大110%にも腹圧が高まることが判明した。つまり腹を膨らませることで、意識的に持続的に著しく腹圧を高めることができる。では腹圧を上げやすい姿勢とはどのようなものだろうか。

腹を膨らませると腹圧が上がり、骨盤を後傾すると腹圧を上げやすくなる。さらに膝を曲げると骨盤後傾しやすい。これを実際の姿勢に繋げて考えると、日本人の生活には一番良いことがわかる。しかし、これはいわゆる



姿勢の「良し悪し」とは？

悪い姿勢？

事実：
腹圧上げやすい

推察：
腰椎を保護するかも

腰の養生に○？

良い姿勢？

事実：
腹圧上げにくい

推察：
腰椎には負担かも

腰の養生に×？

「悪い姿勢」となる。ここが非常に難しいポイントであるという。そこで患者の意識改革を実施し、姿勢を「良し悪し」で捉えないように配慮する。

患者だけではなく 施術者の意識改革も必要

こうした事実を踏まえ、栗原先生は指導面でも対策を進めている。施術者も幼少の頃から「正しい姿勢」を叩き込まれており、「姿勢を良し悪しで語ってはならない」という意識改革を実施して、指導もスムーズになるよう考慮しているとのことだ。

病院としても取り組みを続け、理解が進まない現状を解説し「正しい姿勢という呪縛からの脱却が、自らの腰部を守る活動につながる」との思いから「姿勢の良し悪しという固定感から脱却してほしい」と呼びかけた。

栗原先生は現在、病院長を務める傍ら、腹圧による腰椎保護を認証するような制度を作り普及に努めている。立証には目標や計画を立てて実践し、結果を見直し改善に繋げる仕組みが整っていることなどが求められる。まだ、「患者さんへのおすすめ」としての研究段階にとどまるが「実践例を重ねて共有することで、腰部の養生の一つとして安全性を高めていきたい」と話す。

4月 休日当番

5日(日)

前橋	神尾接骨院	027-283-2932
伊勢崎佐波	内山接骨院	0270-65-2518
桐生みどり	かしわけ接骨院	0277-43-6571
	NARI接骨院	0277-76-5005
高崎	問屋町駅前接骨院	027-393-6776
	丸山接骨院	027-323-0185
	正観寺接骨院	027-386-8812
富岡	秋山接骨院	0274-63-6139

12日(日)

前橋	てらさき接骨院	027-289-5989
伊勢崎佐波	齋藤接骨院	0270-76-4743
桐生みどり	さいとう接骨院	0277-43-8574
	ながや接骨院	0277-74-5938
高崎	須藤忍接骨院	027-362-5614
	さまた接骨院	027-372-2178
	とみざわ鍼灸接骨院	027-373-7377
富岡	阿久津接骨院	0274-64-2701

19日(日)

前橋	あおばら接骨院	027-225-2662
伊勢崎佐波	松島接骨院	0270-25-0018
桐生みどり	ほしの接骨院	0277-76-7042
	中里接骨院	0277-52-6336
高崎	すがわら鍼灸整骨院	027-321-5110
	くすの樹接骨院	027-363-0411
	湯浅接骨院	027-346-5678
富岡	伊藤接骨院	0274-63-2354

26日(日)

前橋	細野接骨院	027-267-7002
伊勢崎佐波	上飯島接骨院	0270-65-0950
桐生みどり	鈴木接骨院	0277-46-3741
	吉田接骨院	0277-52-0606
高崎	桜井接骨院	027-344-1500
	岡田鍼灸接骨院	027-370-2727
	高木接骨院	027-387-2186
富岡	白十字接骨院	0274-67-7564

29日(水)

前橋	亀泉接骨院	027-264-0113
伊勢崎佐波	てつじ接骨院	090-2142-0761
桐生みどり	武藤接骨院	0277-22-4667
	アース接骨院	0277-51-4276
高崎	高橋接骨院	027-326-5111
	あらい接骨院	027-386-6002
	にしざわ接骨院	027-386-8686
富岡	鶴田接骨院	0274-64-3301

<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>

検索

休日当番は変更となる場合があります。
詳しくは当会ウェブサイトにて、
ご確認をお願い致します。



左の2次元コードからも
アクセスできます。

